平成28年度施政方針

るな世域とるおちつくり画典

平成28年度市議会第1回定例会 施政方針 Ξ

施政方針演述する田村正彦市長 (2月25日、市議会議事堂議場)

べました。その一部を抜粋して紹介します。日には、田村正彦市長が28年度の施政方針について述5日まで、市議会議事堂議場で開かれました。議会初平成28年市議会第1回定例会が、2月25日から3月

ます

28年度は、昨年末に策定した市総合戦略を本格的に推進する年となりますが、しごとを創り、特別で取り組む所存であります。東に取り組む所存であります。東た、新たな総合計画によるまた、新たな総合計画によるまた、新たな総合計画によるまた、新たな総合計画によるまた、新たな総合計画によるまたがくりも始まります。東と定め、「ともに暮らし、しありせ感じる八幡平市」実現のたりも対象とともに、安心で安全な地域づくりも対象に関連を関した。

め、各種施策の推進に努めます。 第八回国民体育大会「希望郷いわて国体」冬季大会スキー競技会は、大勢の選手・監督、役 技会は、大勢の選手・監督、役 技会は、大勢の選手・監督、役 技会は、大勢の選手・監督、役 大会運営については、 関係者の皆さんや平舘高校の生 など多くの方々からご協力・ご など多くの方でからご協力・ご など多くの方でからご協力・ご など多くの方でからご協力・ご など多くの方でからご協力・ご など多くの方でからご協力・ご 会開催の機運醸成に一層努め10月の本大会に向けては、て感謝申し上げます。

1.未来への希望にもえるまちづくり

努めます

保育

0歳児などの受け

子どもが健やかに成長できる

ように相談支援体制の充実に

定員拡大に伴う改築を補助す

れ促進のため、

私立保育園

 \mathcal{O}

るとともに、

家庭的保育事業 家庭的保育者研

組みます

2つの施策に取り組みます。とともに、持続可能な地域コミュニティの形成のために、し、子育て支援、定住・移住の促進を積極的に推進する、小幡平市に住んでよかったと思えるまちづくりを目指

ちづくり ❶住んでしあわせを感じるま

の経験を生かし、地域振興に任用を見込んでいます。隊員 結び付けるとともに、任期満 住・定住の促進に努めます。 了となる隊員の起業支援など の収集と提供に取り組み、 や短期居住体験、 に取り組みます ▼地域おこし協力隊 定住対策 空き家情報 上験ツア 人の 移

年度は、 ラミング講習などを実施。 若者を全国から集めてプログ ▼起業志民プロジェクト ITで起業を目指す 27

> したり、 齢者が、 生活を行うことができる仕組 りするなど、健康で活動的な 部などから移住した元気な高 7 社の市内での立地が見込まれの取り組みで、IT企業子会 みづくりに取り組みます。 (生涯活躍のまち構想) の育成・支援に取り組みます。 いますが、

入増員して

2人体制とし

八幡平市版CCRC構想 社会活動に参画した 地域で積極的に就労 引き続き起業家 都市

ちづくり

家庭相談員 家庭相談員を

療費助成を中学生まで拡大な

らに8月をめどに子どもの医

所得制限を4月から廃止。

さ

▼医療費助成

妊産婦医療の

育所と松野保育所の統合・新のため、老朽化が進む寄木保また、低年齢児受け入れ拡大 も助成。疾病予防の徹底と経ふくかぜの予防接種に対してルエンザ接種に加えて、おた 済的負担の軽減を図ります。 ルエンザ接種に加えて、 築について検討します。 修会を開催。 の立ち上げに取り

予防接種

子どものインフ

❷安心して子育てができるま

元雇用の場の拡大に取り組み るなど、新規立地の促進、地る設備投資への支援を拡充す 新規立地の促進、 地

関係機関と連携し、支援をる取り組みを促進するため、 間の取引・販路拡大につなが 同研究による技術開発、 的研究機関や大学などとの

支援

地元商店などと協議をしなが 状況を踏まえつつ、 されたことから、事業の進捗整備土地区画整理事業が認可 おいて大更商店街のにぎわい 5 商業振興 ード・ソフトの両面に 大更駅前線沿道 商工会や

行いながら、教育旅行・体験ムを加えたメニューの提案を

旅行の誘致に取り組みます。

▼外国人旅行者の誘客(イン

❸山林の保全と林業の活性化

支援を行い、 削減と作業路網整備を進めま 導入支援による生産コストの 林整備事業に対するかさ上げ また、 の利活用のため、 木質バイオマスエ 森

2. ともに学び働き、暮らし豊かなまちづくり

いきます。 持続可能なまちづくりのため、5つの施策に取り組ん 禁振興を図り、地域経済の発展による就業人口の定着 業振興を図り、地域経済の発展による就業人口の定着 「農と輝の大地」の実現に向け、農林業・観光などの でと産

産業基盤として持続する農

や生を「業に取り組み、生業に取り組み、生

や生産コスト低減に必要な農業に取り組み、生産規模拡大▼園芸振興 国の各種補助事

体系を推進します。 とのバランスがとれた作付け (稲発酵粗飼料)など転作作物 より一層の周知と誘導に努め 米の振興 ルクロップサイ 主食用米と飼料用米や 用米生産の レ ジ

を支援。

ホウレンソウについ

業機械の導入、

施設整備など

ては、

関係機関の協力を得ながら、 立した経営を開始できるよう 就農給付金制度を有効に活用 就農者等支援事業と国の青年 随時見直しながら、 各地域で作成されたプランを フォローアップに努めます。 し、新規就農者がいち早く自 ▼新規就農者支援 ▼地域農業マスタープラン 市の新規 地域の



人・農地問題の解決に努めま

地域の担い手

の農地集

動化を推進します。 構を有効に活用し、 積・集約は、

農地中間管理 $\dot{\wedge}$

ん草センター」の機能強化を用拡大が見込まれる「ほうれては、収穫機などの導入や利 支援していきます。 リンドウ の委託事業を活用 J A 新い 天皇杯受賞を契 わて八幡 しなが

玉 機として、 平花卉生産部会の販売目標額 15億円の早期達成を目指し、

安代りんどうオリジナル品種「恋紅」

せて じ、そのブランド力を向上さ

八幡平、 入され、 会などの活動と連携。岩手 迎えるとともに、8月11日に 同国立公園に八幡平地域が編 平地域編入60周年 は、新し れを機に、 「山の日」も施行されます。 60周年という節目を い国民の祝日である 八幡平国立公園協 本年は、 一時雨山

客も積極的に進めていきます

❸地元企業の発展と企業誘致

旅行博覧会に職員などを派遣

新規の外国人旅行者の誘

海外にアピールするため、 幡平・安比スノーリゾー 心とした誘客を図ります。

トを

オーストラリアで開催される

の推進

・工業振興

業費補助金の要件を緩和。

の要件を緩和。既企業立地促進事

きます。 子牛導入に対して支援してい障を来さないよう、市内産の 障を来さないよう、市内産の「いわて八幡平牛」の生産に支 ▼畜産振興 近年の肥育素生市の産業振興につなげます。 種の海外での活用を推進し、 の高騰状況が、 品種開発を加速。 近年の肥育素牛 地域ブランド 開発品

業として、 整備を図ります。 の出展や販路拡大事業を通 安比塗 東京での見本市 ブランド力向上事 \sim

め、

グリ

シッ

リズムや地

角街道などの歴史遺産をはじ

熱発電所などのエコツ

-リズ

流人口の増加 ❷おもてなしの観光による交 いきます。

バウンド)

アジア地域を中

十和田八幡平国立公園八幡

ます 存企業を含む事業者が実施す

源を全国に発信していきます。 をはじめとする優れた観光資

スポーツイベント

四半世

行っていきます。関係機関と連携し、 支術開発、企業や大学などとの共や大学などとの共

スポー のスポー

ツのまち八幡平市とし

・ツ合宿誘致を通し、

て、全国に発信していきます。

▼観光振興

旧松尾鉱山や鹿

援。

ラグビーやサッ

力

など

実施するほか、

例年開催され

ているスポーツイベント

-を支

山焼走りマラソン全国大会を 紀の節目を迎える第25回岩手

❹商業の拠点づくりと買い物

づくりを進めてい きます。

ネルギ 林業振興 高性能林業機械

どの森林施業を推進します。

3. 心身ともに健康で、活力に満ちたまちづくり

ため、7つの施策に取り組みます。ちが心身ともに健やかで活動できるまちづくりの実現の健康で長生きできるまちづくりや次世代を担う子どもた健康に暮らすということは、かけがえのない財産です。

0 まちづくり 心も体も健やかに暮らせる

また、 診 健康診査を実施します。 康保険加入者を対象に、基本 の結果説明会を開催します 成金額を見直し。 ック受診対象者の年齢、 健診日程 30歳から39歳の国民健 0) 健診受診後 部 と 助 脳

現 2元気に長生き高齢社会の実

 \mathcal{O}

療 • ビス 体制の構築に力を注ぎます。 備や認知症カフェなどの支援 初期集中支援チ ステムの構築を推進。 齢者を支える地域包括ケア 介護・福祉が連携して高 などの充実を図り、 生活支援サ 近の設置準 医 シ

❸地域を見守る福祉の推進 ▼障がい者福祉 障がい者の

増加に対応するため、 高齢化や高齢者の単身世帯の

> る避難支援の態勢づくりに取ステムづくり、災害時におけ体で支えるネットワークやシ 体で支えるネッ り組みます Þ

母安心できる医療の充実

金を交付します。西根病院の整備などに要する経費に補助 移転新築は、 本年度は、 医療 最終調整を行 東八幡平病院の施設 実施設計と開発行 現在、 って 基本設計 いま す。



ジスポー 市体育協会と連携し、 む環境づくりと、 体育振興 ツ活動の推進 スポ スポー

おり、 努めます 為に伴う用地造成を計画して 事業の計画的な進捗に

⑤地域に根差した教育の充実

指します る力「知、 兼ね備え、 健全な児童・生徒の育成を目 いくことのできる心身ともに > 学校教育 徳、 未来を切り開 人としての生き 体」を総合的に いて

会の充実 ⑥心豊かな人生を送る学習機

供に努めます。 画の基本方針の実現に向け と連携しながら学習機会の提 生涯学習 各コミュニティセンター 生涯学習推進計

とともに、 協会、 術文化の普及に努めます。 市民の芸術活動の促進を図る 示・発表の機会を提供 ▼芸術文化振興 各種団体と連携して、 芸術祭などの展 市芸術文化 芸

どの国体関連種目 県内大会で活躍する選手の育 成に努め、ビームライフルな 年団の育成に努めます。また、 の教室を開 ツに親っ 国体や ツ少

努めます

事に協賛。

また、事業者が行

▼地熱発電 開所50周年を迎

❷自然エネルギ

の有効活用

康で快適な生活環境の確保に

マスタ を進めます。 選手権大会の準備 れる第41回全日本 ーズスキ また、

29年3月に開催さ

競技の普及と

運の醸成を図りま ▼大会・イベント

国体に向けての機

と連携し、 ムキャンプ地招致、 ラグビ

東京オリ W杯チー

関係機関 ンピッ クの事前キャンプ地招

国体競技の体験教室やキャンプ招致 を通してスポーツ活動を推進

自然をはぐくみ、 景観にすぐれたまちづくり

致活動を行っていきます

取り組んでまいります。
る豊かな心が培われたまちを目指すため、2つの施策に可能エネルギーの積極的な活用を図り、自然を愛し、守可能エネルギーの積極的な活用を図り、自然を愛し、守本市の風光明媚な自然環境を保全するとともに、再生

行動計画に基づき、 度までを計画期間とする後期 たことから、 28年度から33年 市民の健

備に着手します。 屋の沢配水池から椛沢地区へ

を行

ます。

28年度は、

地域要望などへ 0)

県産業廃棄物最終処分場 支援

査業務に着手します 災害に強いまちづく の移行に向けた固定資産調 地方公営企業会計 各 続き支援して

5. ふれあいを大切にする、人情あふれるまちづくり

まちづくりを目指します。引き続き進め、地域に住む住民のぬくもりが感じられて引き続き進め、地域に住む住民のぬくもりが感じられて地域と行政が相互に協力・協調する協働のまちづくりない地域コミュニティのつながりを大切にするとともに、

るを

生活拠点を結ぶ地域内幹線交

地域の防災懇談会での意見や

で市内を移動できる総合交通

クの構築に向け、

地域公共交通 少ない負担 の建て替えを実施します

基づき、 係機関 れまでの成果を検証し、効政改革大綱を策定中です。 域各市町が結んだ連携協約に ▼広域連携 や魅力を生み出して に拡大し、圏域に新たな価値 者相談などの取り組みをさら て行ってきた企業誘致や消費 を進めます。 者への啓発活動を強化します が高齢者であることから、 ▼市行政改革大綱 交通安全 ・団体と連携 都市 のうち3件の犠牲者 昨年の これまで連携 盛岡市と盛岡広 圏ビジョン策定 第3次行 いきます。 内死亡 高齢 効率 ح

極的に取り組んでいきます。 的で効果的な行政経営、 に開かれた行政を目指し、 公共施設の管理 計画的に 市民 積

区域の指定を進めながら、近明会などで情報を提供。警戒の基礎調査結果を基に住民説す。土砂災害危険箇所は、県

す。土砂災害危険箇所は、県防災マップの作成を行いま災害時の危険箇所を記載した

ま

た

う地熱資源開発に対し、 更新・統廃合・長寿命化を図 公共施設等総合管理 いきます。

「総合健診」「ミニド ッ ク健

革や広域連携による行政運営に努めます。基盤・生活基盤の整備・維持を進めるとともに、写りつのまちづくり目標に向けた各種施策のほか、

行政改

別消防団員制度を創設し、 員の経験者を対象とする機能

市

民の生命と財産を守るため、

万全を期して

11

.きます。

るため、

計画を策定。

29年度から導入

して

きます。

推進されるよう支援し

や市の支援の在り方についてため、29年度以降の指定管理ため、29年度以降の指定管理はる活動の充実・強化を図る域活性化の拠点として、さら

コミュニティ

センター

地

年

計画的に大更駅西口駅前広場の

工事を進めていきます

あため、基づき、 測量・用地取得を行います。 事を進めるとともに、 場の用地買収や補償契約、 口駅前広場整備に向け、 自由通路や駅舎整備事業、 更駅前線と大更駅西口 ため、 市営住宅 市営町裏住宅2棟 良好な居住環境確保 収や補償契約、工 大更駅西口駅前広 大車駅西口駅前広 長寿命化計画に 大更駅 用地 東

まちづくりの目標を支える社会基盤の整備と行政経営の方針 的参加による地域活動が一層枠を設けるなど、市民の主体 上げる事業を行うための特別年度に引き続き、国体を盛り、地域づくり一括交付金 昨 ンパクト www.コニティバス 正行の見直しなどを検討。コ 山スマ 振興と連携 査などを実施します。 今後の整備を検討する構想調 計・道路概略設計に着手。 新時森線など3路線の実施設 りに取り組んでい など10路線を継続して実施し の事業完了、 ていきます。 ▼道路整備 市道沢口線の流雪溝は、 なまちづくりや観光 %した交通拠点づく 新規には、 市道森合線外 市道山子沢支線 ンターチェ

市道

立てます。

また、

防災行政無

災害時における避難行動に役

年多発する自然災害の予防と

線をデジタル方式に移行する

ための実施設計を行います。

消防団員、

消防吏

田

布車を購入します。 応じた除雪体制により、 および歩道の除雪を実施しま 除雪対策 また、 各地区の実情に ーザと融雪剤散 車道

設を実施します 引き続き管理棟と配水池の建 水道事業 した統合事業を継続し、 小屋の沢水源を

業の西根地区管渠整備を継続 公共下 -水道事



地域の防災で大きな役割を持つ 消防団員(昨年の消防訓練大会)

一行政組織

部長制廃止に伴

組織を再編。

迅速で効率

帳の整備を進めていきます。

工作物などの固定資産台

される公会計制度に備え、

的な組織経営を目指すととも

向上に努めていきます。